

夏休み化石発掘体験レポート

令和7年（2025年）に入ってから、春休みやゴールデンウィークに化石の発掘体験を何度か実施してきました。参加者からの要望を伺うと「現地で発掘体験をしてみたい」という声が多く聞かれました。そのため、7月～8月の夏休み時期に、ワカヤマソウリユウが発見された長谷川地区の鳥屋城山で、地層からそのまま発掘体験ができるイベントを開催しました。開催にあたっては、土地所有者のご理解ご協力のもと、体験場として利用させていただきました。

●見つかった化石

鳥屋城山は、山全体が中生代の海の地層からできているので、どこを掘っても化石が出てくるといっても差し支えないでしょう。夏休みの発掘体験でも、海底に堆積した多くの化石が見つかりました。「植物の破片」や「二枚貝」「巻



アンモナイトの化石



発掘体験の様子

●化石の発掘体験を観光に生かす

貝」などの化石は、ほとんどの参加者が発見することができました。また「ゴカイ」など、海底に穴を掘って生活していた生物の「巣穴」の化石も見つかりました。さらに、珍しい化石として「アンモナイト」は1日に2、3個ではありましたが、見つけた参加者がいました。

発掘体験では、毎回参加者にアンケート調査を実施しています。ゴールデンウィークまでは、町内や近隣からの参加者が多かったのですが、夏休みは8割以上が町外からの参加で、県外からの来訪者もこれまでの10%台から23%と、全体の4分の1近くに達しました。発掘体験後に温泉や食事に行く家族の割合も増加しており、少しずつではありますが、発掘体験が有田川町を訪れる一つのきっかけとなって、町内を観光する流れができています。